

よろず支援拠点 相談ノート

新規創業編

平成30年10月頃から相談開始

「旧北国街道今庄宿にある古民家を活用して、団子屋さんを開業したい」という女性が鯖江商工会議所での相談日に来訪されました。具体的には、南越前町今庄地区で古民家を再利用するプロジェクトがあり、その中の1軒の蕎麦屋とコラボレーションで団子を提供してはどうかという話がありました。それに併せて団子の商品開発をしていきたい、ということが始まりです。

事業計画策定

担当したコーディネーター（以下Co）は、創業時に一番大事なことは事業計画をできるだけ具体的にしっかりと練り上げ、それに基づいて行動することだと助言しました。

中小企業庁が配布している「夢を実現する創業」という創業マニュアルを紹介し、その中にある事業計画のフォーマットを埋めていながら、具体的な事柄を検討してもらいました。

順調に進むかに見えましたが落とし穴もありました。当初予定していた蕎麦屋とのコラボレーションが破談になり、物件探しから再スタートしなければならなくなりました。



外観



店内

幸いなことに先のプロジェクトが管理している古民家は他にもあり、その中の1つである旧山田家は、元タパン屋さんが営業していましたので、大きな改造を施す必要もなく店舗物件として活用できました。開業の時期を数カ月遅らせる必要がありましたが、事業計画・損益計画をしっかりと作ってありましたので、方針の変更にもすぐに対応ができました。

商品開発

福井産のもち米に地元の豆腐を混ぜて作る白玉団子が大きな特徴で、ダイエット中の女性にもちよっとだけ気持ちを緩めて食べられるようにしました。

みたらし団子という串に刺したものを想像しますが、甘味処てまりの団子そのまま皿に乗せて提供します。これについてもCoは、他のお店との違いが出しやすいので良いだろうと助言し、和と洋を上手に融合させた商品を作り出しました。

相談先：甘味処てまり

相談者：橋本慶子

事業概要：旧今庄宿の古民家を使った団子をメインとする甘味処の開業と運営

相談概要：団子屋さんを創業したい。



黒みつ抹茶



抹茶ぜんざいかき氷(夏季限定)

ペルソナ^{*}設定 販売促進

創業計画をしっかりと立案したつもりでも、誰を顧客とするのか、というマーケティングの基本が明確になっていないことが多いです。甘味処てまりも同様で、Coはペルソナを具体的に設定することを助言しました。

当初は地元在住の女性で、比較的年齢の高い人を想定し、商品もそれを前提に作り込んでいました。

集客や告知についてはInstagramを活用するという方針でありましたので、インスタでの投稿の構成やフォロワーの獲得策について助言しました。現在のフォロワーは463人ですが、まず500人を超えること、できれば1,000人以上にすることが課題です。

^{*}ターゲット、顧客像のこと

開業後

令和2年5月に開業して運営を開始すると、当初想定していた地元の女性客が思ったほど来店していないことに気がきました。

そこでCoは、越前市や鯖江市、敦賀市など近隣市町村や県外から来る20代から40代の比較的若い女性にターゲットを設定し直して集客を進めるよう方針変更を提案しました。Instagramを使うことを考えてもこのターゲット変更は重要です。

また、季節に応じた商品の開発も必要で、継続的に支援を行っています。

相談者からのコメント

お店をやりたい!!って思っても、ある程度は何となく分かっているつもりでもどこから手をつけていいのかわからず…。よろず支援拠点に相談させてもらえて、一気に前が見えました。開店時は新型コロナウイルス感染の影響もあって、テイクアウトからのスタートで不安でしたが、そこでもアドバイスを頂き、不安なく前に進みました。

今は、店内飲食もテイクアウトもできるようになり、売上を伸ばすことができています。ありがとうございます。

お申し込み・お問い合わせ先



福井県よろず支援拠点

TEL:0776-67-7402

E-mail:yorozu@fisc.jp

